

平成22年7月2日

西大寺学区別懇談会の講演（要旨）

講演者：西大寺学区連合町内会会長 高津利明氏の自己紹介

勇気ある発言と行動を起こしたこと（??）もあって、本年4月同会長に就任することになりました。何事もスタートに当たっては勇気を要するものです。本日のテーマにつきましては、西大寺地区青少年育成協議会会長の根木克己さんと歓談していきまして、決定をみました。

テーマ： 子供は地域の宝（国の宝）

早いもので今年も半分が過ぎました。これから夏本番。

安仁神社の茅（ちがや）の輪くぐり・・・無病息災、家内安全、合格祈願、五穀豊穰、スリム美人変身の祈願、百歳大往生の祈願・・・自己中心型になってしまいます。

相撲界の野球賭博問題で騒がしい状況ですが、29日早朝の岡田ジャパンのサッカーには興奮しました。

岡田監督の曰く、「日本人の誇りと魂を持って素晴らしい選手達と戦った事を誇りに思う。関係者の皆様にも国内で応援して下さいましたサポーターの皆さんにも今後とも暖かい目で見てください。」私が学ぶべきポイントとして挙げたいポイントは「**一体感の勝利（岡田監督）**」。スポーツ愛好家（クラブ活動）なれ！と勧めたい。感動は、共有する・・・勝っても、負けても、泣くも笑うも・・・これにて、コミュニティーが醸成されます。苦楽を共にした仲間は生涯の宝です。PK戦で4番戦に出た駒野選手はバーに当てノーゴール、結果的に3-5で破れ去った。駒野選手は、信頼度・責任感の高い人が4番5番に出るのですが、マスコミのインタビュウーには答える事もなくその場は去った。日本に帰ってのコメントでは同期の阿部選手や田中闘莉王の仲間達が、励まし慰めてくれた、と。皆で支え合う事の模範ではないか。

ここで「アシスト」について考えてみたい。

- ① 第1戦目に1-0で勝った時、松井選手から本田選手へのアシスト、ゴール。
- ② 更にオランダ戦3-1で勝った時の本田選手、FK 無回転でゴール。それに続けて遠藤選手のFK。彼、独特のフックボールでゴールした。
- ③ 問題は3点目がゴール前、本田選手直接どうかと思いきや岡崎選手にアシスト、ゴールとなる。

アシスタントは案内役、激しい状況の中での戦況の判断だと思う。

このようにサッカーを見て、「宝」をどの様に見ればよいか？考えればよいか？自問自答させられた。

さて、子供（宝）を育てることの社会的重要性は今更申し上げるまでもないことながら、その現状を統計データに少し見てみよう。

出生率（人口1000人対）の年次推移

年次	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
岡山市	11.2	11.0	11.1	10.5	10.4	9.6	10.1	9.8	9.9
岡山県	9.8	9.7	9.5	9.2	9.1	8.6	8.9	8.8	8.8
全国	9.5	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6	8.7

（岡山市保険衛生年報）

区別・福祉事務所別人口 高齢者人口

区	福祉事務所	総人口(A)	65歳以上(B)	同%(B/A)	同独居者%(/B)
北区	中央	178,147	34,235	19.22	17.82
	北	108,997	26,208	24.04	11.52
	計	287,144	60,443	21.05	15.09
中区	中	141,859	28,758	20.27	14.87
東区	東	90,070	23,388	23.61	10.78
南区	西	69,250	14,891	21.50	7.84
	南	100,897	18,085	17.92	12.68
	計	170,147	32,976	19.38	10.50
岡山市		698,220	145,565	20.85	13.31

（平成21年6月1現在の外国人を含む人口）

岡山市の出生率は全国平均から見ると幾分高いが、それでも年と共に低下し、少子化が進んでいる。又一方、高齢化の数字は東区23.4%(65歳以上)、岡山市の中でも高い方である。

少子・高齢化がこのまま進んでいくと、社会を支える人口が減って、老後の年金や雇用保険の社会基盤を維持することが難しくなる。日本社会挙げての取り組みが必要。

子供手当支給制度はその1つ、生みやすく、育てやすく、労働環境を直視して、「子は地域（国）の宝」の実効を上げていかねばならない。

精神的なバックボーンにも触れてみたい。

古き良き時代の結婚観・20代は愛情・30代は努力・40代は忍耐・50代はアキラメ・60代は感謝・・・年代相応に生きる事。

子育てにおいては、コミュニケーションの重要性を感じる。
子供は、見ている・聞いている・感じている・考えている・・・存在なのである。
若い両親の子育て教室ではないが、この事を家庭生活の中でも忘れてはならないと思う。

仕事のストレス、夫婦間で生じる不満など、一般の日常生活に問題は尽きない。
コミュニケーション不足に、攻撃型の会話や感情表現下手から来る不満などがある。

【伝える・通じる・分かち合う】コミュニケーションを心がけたい。

私の心情として、
自分の人生・・・1日を健やかに
子供の人生・・・1年を爽やかに
家族の人生・・・一生を穏やかに
いずれも支え合って、達成できるものではなかろうか。

最後に、俳句の5・7・5調で私の人生訓を申し上げて終わりたい。

- * 感謝する 暮らしに愚痴なし 不足なし
- * 与えても 減らぬ親切 残る徳
- * 地域では 共に育てよ 子は宝

以上